

京都創生

KYOTO SOUSEI

創生
京都

第5号

日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

【特集】 歴史都市・京都を「安心・安全で魅力あふれる美しいまち」 にするための無電柱化事業

京都市では都市景観の向上、都市災害の防止、安全で快適な歩行空間の確保等を目的として、無電柱化事業を進めています。

この度、平成23年4月15日に八坂通の無電柱化事業が完成したことに伴い、「産寧坂伝統的建造物群保存地区」内の無電柱化計画路線の整備が全て完成しました。また、平成23年10月11日に「上賀茂伝統的建造物群保存地区」内の一般府道上賀茂山端線においても無電柱化事業が完成しました。

■「産寧坂伝統的建造物群保存地区」内無電柱化事業

事業年度：平成18年度～平成22年度
事業費：約6億円
事業延長：630メートル
事業区間：一年坂～二年坂～産寧坂～八坂通
事業内容：電線共同溝新設工事、照明灯の設置、道路の舗装復旧（石畳舗装）など



八坂通の整備前後の状況

■「上賀茂伝統的建造物群保存地区」内一般府道上賀茂山端線の無電柱化事業

事業年度：平成18年度～平成21年度
事業費：約3億円
事業延長：380メートル
事業内容：電線共同溝新設工事、道路の舗装復旧（路肩カラー舗装）など
電線管理者の電柱・電線類の撤去復旧作業が平成23年10月に完成。 ※京都市実施主体の電線共同溝新設工事は平成21年度に完成済。



一般府道上賀茂山端線の整備前後の状況

■京都市の無電柱化の現状

京都市では、昭和61年度から、これまでの25年間で、幹線道路をはじめ景観の保全・再生が必要な地域において、約59kmの無電柱化を推進してきました。平成18年11月には、「歴史都市・京都創生策Ⅱ」を策定し、特に重点的に約150kmの無電柱化に取り組むこととしています。現在、平成24年度の完成を目指し、「上七軒通」（上京北野界わい景観整備地区）の無電柱化事業を行っているところです。

■取組に当たっての主な課題

1kmの整備に7億円（京都市2.5億円、国2.5億円、電線管理者2億円を負担）もの多額の費用を要することに加え、電柱に共架されていた変圧器を地上に設置しなければなりません。地上機器（長さ120cm×幅50cm×高さ90cm）は電柱より大きなスペースが必要となるため、設置場所の確保が大きな課題となります。そのため、制度面・財政面の更なる拡充を、国に提案・要望しているところです。

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

「京都創生推進フォーラム連携支援事業」対象事業決定

京都創生推進フォーラムでは、会員の皆様と連携し「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた取組を推進することを目的に、その趣旨に沿った事業を支援する「京都創生推進フォーラム連携支援事業」を実施しています。京都創生推進フォーラム運営委員会による選考の結果、平成23年度は次の2事業を対象事業として選定しました。

対 象 事 業

○白川 淑 **文化**

(コンサート) 京ことばコンサート

平成23年9月8日 開催

○NPO法人文化芸術国際協会 **文化**

(イベント) 日中文化交流除夜の鐘テレビ中継
日中友好名書画家展

平成23年12月31日

イベント 開催

平成23年12月12日～17日

(予定) 書画展

事 業 紹 介

京ことばコンサート

～のこしまひょ ひろめまひょ うちのこことば うたいまひょ～

白川 淑

◆開催日 平成23年9月8日(木)

◆場 所 京都文化博物館(別館ホール)

企画趣旨

京都の無形文化財として遺したい「京ことば」は、時代と共に変わり、失われつつあります。「こんなええことばを伝え広めていきたい」という思いを共有する京都人、「白川淑(詩人)、嵐野英彦(作曲家)、嶺尾圭子(ソプラノ)、佐野晴美(メゾソプラノ)」の4人が集い、「国民文化祭・京都2011」開催の地で、演奏を通して多くの愛好家を増やしたいと思い企画しました。



ひとこと

会場の京都文化博物館は、今回のコンサートにふさわしい風情で、立ち見が出るほどのお客様にご来場いただきました。参加者からは、「懐かしい」のお声や涙をためていらしゃる方もお見かけしました。改めて「自分が生まれ育った“地の言葉”＝“血の言葉”」を強く感じました。今後も今回のようなコンサートを行なう機会を持ちたいと話合っています。

京都創生トピックス

観光庁・京都市共同プロジェクト

「観光立国・日本 京都拠点」ただ今実施中!

京都市では、観光立国・日本の実現に向けて、観光庁と京都市の共同プロジェクト「観光立国・日本 京都拠点」を平成23年1月から実施しており、それぞれの持つノウハウやネットワーク等を融合させ、外国人観光客受入環境の充実やラグジュアリー層を中心とした外国人観光客の誘致等に取り組んでいます。

その一環として、外国人宿泊施設向けの24時間多言語コールセンターの実証実験を9月1日から開始しました。この事業は、外国人観光客が抱える「言葉の不安」を和らげるため、宿泊施設における外国語対応をスムーズにするとともに、緊急時のサポート体制を整えることで、京都観光における外国人観光客の安心安全及び満足度の向上を目指します。

今後も、観光庁や事業者と共に世界での「KYOTO」ブランド向上に注力し、京都から日本全体の観光をけん引していきます。



溝畑観光庁長官(左)と門川市長

シンポジウム 京都創生推進フォーラム

京都創生推進フォーラムと京都市では、京都創生の実現に向けた市民の皆さんによる自主的な活動を推進するため、シンポジウムを開催しています。京都は山紫水明の豊かな自然の恵みを生かし、長い歴史の中で育み受け継いできた守るべきものを守りながら、進取の気風をもって常に新しい文化を創り続けてきたまちです。これからも奥深い魅力が溢れ、世界中の人々を惹きつけるまちであり続けるために、いま私たちにできることは何かを、シンポジウムを通じて考えています。

日時 平成23年7月7日(木)

会場 上七軒歌舞練場

今回は、京都創生の取組の成果が反映している上七軒歌舞練場を会場に開催しました。上七軒歌舞練場は、平成21年に耐震性の確保と快適な劇場空間を提供するため大修復工事を行っていますが、京都市では平成19年度から一部助成を行い、大屋根や外壁等の修理に対しては「歴史まちづくり法」を活用した助成を行っています。さらに、周辺の歴史的町並みの修理・修景工事に対しても助成を行っています。

当日は、雨にもかかわらず約500名の参加者にお集まりいただき会場は満員となりました。シンポジウムに先立ち京都創生推進フォーラムの総会が開かれ、立石義雄京都商工会議所会頭が引続き代表に就任することが決定しました。続いて立石代表、門川市長による主催者挨拶、京都創生の取組報告を行い、芸舞妓による舞の披露もお楽しみいただきました。



パネルディスカッション

「外から見る京都 内から見る京都」

(パネリスト)



河瀬直美氏
(映画作家)



森口邦彦氏
(染色家、重要無形文化財保持者)



ランディーチャネル宗榮氏
(茶道裏千家教授)



進行役：坂井輝久氏
(京都創生アドバイザー)

シンポジウムでは、「外から見る京都 内から見る京都」をテーマに、京都がより魅力的なまちになるためにはどのようなまちづくりを進めていったらいいのか、また、次の世代にどうつないでいったらいいのかなどについて、映像を交えて、熱心に語り合っていました。

冒頭、進行役の坂井氏から「東日本大震災以来、近代文明そのものが問われているのではない。私たちが住んでいる地域、町についてもしっかり見直していく時期に来ているのでは」という問題提起がありました。河瀬氏からは、「次の世代につなげていくにはどうしたら良いかを考える時、一緒に暮らしている地域の人々を大切にするのは当然だ」という意見や、森口氏からは、「学生さんのような若い人達と、市民税を払い終えた自分達のような世代とが一緒に、どうやって面白いことをするかで、このまちをさらに面白くすることができるのでは」という意見、ランディー氏からは、「京都は日本文化が色濃く残っているまち。京都の文化は京都や日本のものだけでなく、世界の宝物だと気付くべき」という意見をいただきました。最後は、「誰かが何かをしてくれるのを待つのではなく、一人ひとりがそれぞれの環境のなかで、自分にできることをやってみようと思うこと、そのことが次につながるうえで大切」という意見がパネリスト共通の感想として出たところで終了となりました。(写真提供：京都新聞社)

※シンポジウムの詳しい内容は、「京都創生推進フォーラム」のホームページでご覧いただくことができます。
(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
第23回京都絞りフェア2011 —江戸の文化、東北の伝統、 京都の技—	江戸の華浮世絵、東北の四 大祭を京鹿の子絞りの技で 表現した特別展	開催中 12/25(日) 9:00~17:00 (休館日 11/1、 11/17~19、 12/1)	京都絞り芸芸館 (京都市中京区油小路通御 池南入る)	500円	不要	京都絞りフェア実行委員会 (075-221-4245)
石本正 —京への想い—	京都への想いが込められた 風景・鳥・花などの新作展	開催中 12/11(日) 10:00~17:00	中信美術館 (京都市上京区下立売通油小 路東入る西大路町136-3)	無料	不要	公益財団法人中信美術奨励基金 (075-223-8385)
特別展 京の小袖 —デザインにみる 日本のエレガンス—	日本屈指の呉服の老舗「松 坂屋」「丸紅」「千總」の3社 のコレクションを中心に「小 袖」の美の世界を紹介する。	開催中 12/11(日) 10:00~18:00 (金曜日は19:30 入館はそれぞれ 30分前まで)	京都文化博物館3・4F (京都市中京区三条高倉)	一般 1,200円	不要	京都府 京都文化博物館 京都和装産業振興財団 毎日新聞社 京都文化博物館 (075-222-0888)
おいしいお茶の淹れ方体験 (宇治コース)	玉露と煎茶のおいしい淹れ 方を体験して頂けます。 所要時間：60分(ご予約時にご希望 の時間をお知らせ下さい。) 人数：1~20名	開催中 2/28(火) 10:00~17:00	福寿園京都本店 (京都市下京区四条通富小 路角)	2,100円	要	福寿園京都本店 地下1階「京の茶蔵」 (075-221-6170 <直通>)
法然上人八百年大遠忌記念 知恩院 ライトアップ2011	今年は国宝三門楼上を特別 公開。秋のライトアップで は約10年ぶり。	11/5(土) 11/27(日) 17:30~21:30 (受付終了は21:00)	総本山知恩院 (京都市東山区林下町400)	800円	不要	総本山知恩院 布教教務部 (075-531-2157)
秋の特別公開(金戒光明寺)	新選組ゆかりの寺で、虎や 松の襖絵や紅葉に染まる紫 雲の庭が公開される。	11/5(土) 12/4(日) 9:00~16:00	浄土宗大本山金戒光明寺 (京都市左京区黒谷町121)	600円	不要	財団法人京都市観光協会 (075-752-0227)
京の奥座敷・貴船もみじ灯籠	車窓から眺める紅葉のライ トアップと貴船を照らす、 もみじ灯籠。	11/12(土) 11/30(水) 夕暮れ~21:00頃 貴船エリアは 20:30頃まで	貴船周辺 (京都市左京区鞍馬貴船町)	無料	不要	京の奥座敷・貴船もみじ灯籠実 行委員会 貴船観光会(075-741-4444) 10:00~16:00 叡山電車(075-702-8111) 平日9:00~17:00
夕霧祭	夕霧太夫の供養法要。島原 太夫による舞、太夫道中が 見学できます。	11/13(日) 10:00~12:00	清涼寺(嵯峨釈迦堂) (京都市右京区嵯峨釈迦堂 藤木町)	無料	不要	株式会社井筒八ッ橋本舗 (075-861-2121)
現代に生きる金属工芸美展	京都の金属工芸の「今」を 担う青年会の作品約35点を 展示。	11/18(金) 12/18(日) 9:00~17:00	京都伝統産業ふれあい館 ギャラリー 京都市勤業館 みやこめっせ地下1階 (京都市左京区岡崎成勝寺町9-1)	無料	不要	京都金属工芸協同組合青年会 財団法人京都伝統産業交流センター (075-762-2670)
私の公開講座 伏見学2011	室町~江戸時代にかけて、 伏見の歴史や人々の生活を 探求します。	11/19(土) 11/26(土) 12/10(土) 13:30~15:20	京都聖母女学院短期大学 (京都市伏見区深草田谷町1)	無料	不要	京都聖母女学院短期大学 (075-643-6781(代))
冬休み子ども体験企画 平安貴族遊び体験	京都の礎・平安京を、子ど も達に雅遊びで体験してい たいただきます。	12/24(土) 10:00~12:00	京都アスニー (京都市中京区丸太町通七 本松西入)	無料 (対象：小学 4年生まで)	要	京都アスニー NPO法人平安京 京都アスニー (075-812-7222)
ジャパンスピリッツ in 京都 ~華の競演~	新年を華やかに祝ういけば な展示、日本文化を感じて いただく。	12/30(金) 平成24年 1/5(木)	京都駅ビル駅前広場、イン フォメーション前、ホテ ルグランヴィア京都2階口 ビー、京都劇場2階入口	無料	不要	京都駅ビル 京都駅ビルインフォメーション (075-361-4401) 10:00~19:00

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成23年11月4日

発行 京都創生推進フォーラム(事務局：(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)